



Akihiko Ota

写真 \ 陶展

光の森

太田章彦 \ 勇木史記

2016年6月18日[土] - 26日[日] 会期中無休

開廊/午後1時 - 午後7時(最終日は午後3時まで)

※「KYODO HOUSE」は自宅兼シェアスペースのため、住所が非公開となっております。
ご来場の際は下記の電話番号、あるいはアドレスへお問い合わせください。

太田章彦 080-4010-7737 | akihikoota@hotmail.co.jp

KYODO HOUSE // // //

写真・陶展「光の森」太田章彦 \ 勇木史記

島根県隠岐諸島のひとつ、海士町を拠点に創作を続ける写真家・太田章彦と陶芸家・勇木史記による2人展を開催します。

オープニングレセプション

オープニングレセプションでは、今回の展示のきっかけとなった「離島キッチン」代表の佐藤氏にゲストとして、展示会場のオーナーである近藤氏にファシリテーターとして加わっていただき、トークショーを行います。
みなさまのお越しをお待ちしています。

日時/2016年6月18日[土]

会場/KYODO HOUSE

会費/1,500円(「離島キッチン」の協力により、島の食材と酒をお楽しみ頂けます)

<スケジュール>

18:30 オープン

19:00 トークショー

19:30 レセプションパーティ

21:00 クローズ

<プロフィール>

太田章彦

1989年、島根県生まれ。ビジュアルアーツ専門学校・大阪の写真学科を卒業後、祖父母の住む島根県浜田市弥栄町に移住する。そこで限界集落について作品制作を始め、「豊かさとはなにか」をテーマに「blowin' in the wind」を発表(Nikon Juna21受賞)。その後、島根県の隠岐諸島のひとつ海士町へ移住。東京写真月間2015国内企画展招待作家。

佐藤 喬 (トークショーゲスト)

1976年、秋田県生まれ。2000年、早稲田大学大学院を中退後テレビ制作会社に入社し、広告制作会社勤務を経て、2009年、島根県隠岐郡の海士町観光協会が公募した“行商人”に採用される。海士町のみならず全国の離島の名物料理を集め、キッチンカーで移動販売する「離島キッチン」を自ら企画し、同年10月から首都圏にて営業をスタート。2015年9月に神楽坂店を開業。



Fuminori Yuuki

勇木史記

1980年、島根県生まれ。2005年、奈良教育大学大学院教育学研究科修士課程修了後、隠岐郡海士町で陶作活動を始める。2008年、脇田宗孝氏より『隠岐窯』命名、開窯。受賞歴は2013年、第30回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形展」入選、2014年、第7回現代茶陶展(セラトピア土岐:岐阜県)入選など。

近藤ヒデノリ (トークショーファシリテーター)

1971年東京生まれ。1994年に博報堂にCMプランナーとして入社後、1998年より休職してNY大学芸術学部/ICP修士課程に留学。近年は「アート×サステナビリティ」を軸にココロラ「いるはず」、ヤフオク「REUSE」、新潟市「水と土の芸術祭2016」などのブランディング、CM、新商品開発、広報のディレクションを行うほか、個人としても草の根の活動を続けている。

KYODO HOUSE // // //

2015年に世田谷区経堂にオープンした自宅兼シェアスペース。「Art of Living」をテーマに、地域に開いた大人と子供の秘密基地として、都会\地方\アート\アーバンバーマカルチャー\ギフトエコノミーなど多様な関係をつなぐイベントやワークショップを行いながら、次代につながる都会のサステナブルで豊かな暮らしを実験中。設計は彫刻家 名和晃平 (SANDWICH) と Low Energy Project.